

## 第47回全国高等学校総合文化祭 in KAGOSHIMA

7月29日から総文祭の写真部門が開催されました。当校からは3年生の川瀬羽菜さんが参加。およそ300枚の作品が会場内のギャラリーに展示してありました。

夕方5時から、会場そばのメイン通りで、鹿児島県内の生徒のパレードが行われました。そこに、全国から集まった高校生のマーチングバンド、バトントワリングなども加わり暑い中でしたが、およそ1時間の行進が続きました。



新潟空港を出発。福岡を經由して九州新幹線で鹿児島に。鹿児島中央駅や鹿児島空港には、総文祭のカウンターが設置され、現地の生徒から出迎えを受けました。

市内での移動は、市電を利用。170円の一律料金、さらには600円のワンデーパスも。使い勝手がよく、何よりかわいらしい乗り物でした。

7月30日は、いよいよ開会式。300人を超える生徒が一堂に。学校から1人だけでの参加でしたが、新潟県からの参加者だけでなく、交流会などとおして他県の生徒と仲良くなるなど、交流会の1時間半は、あっという間に過ぎたようです。

斜面から突き出したひとり用の写真スポットに立つ川瀬さん→



7月31日は、「鹿児島県霧島アートの森」での撮影会。バスで1時間程度の移動後、目の前には木々の緑の中に屋外アートが出現。まず、草間彌生さんのアートの前で集合写真を撮りました。学芸員からの説明、プロカメラマンからの講習などもあり、皆楽しそうに過ごしながら、自然の中の展示物を被写体として熱心なカメラマンになっていました。

最終日は、表彰・講評会。川瀬さんは残念ながら入賞とはなりませんでしたが、優秀作品の評価を聞くことで、さらなる創作力・想像力のヒントをつかんでいたはずです。

雄大な桜島、西郷隆盛像、そして“銘菓？シロクマ”、目も口も楽しんだ総文祭でした。伊丹までの飛行機では、甲子園に向かう神村学園と一緒に。静と動の高校生の夏を感じた旅の終わりでした。来年は岐阜。ひとりでも多くの参加者が出ることを願っています。